



# 池田めぐみ 議会レポート

平成24年12月第4回定例市議会

★補正予算を組まずに済む、自転車駐輪場を提案!

★「藤代陸橋」・「閉鎖された新田踏切」事故が起これないための整備を!



北土地のA・B(ウェルネスプラザ)・C街区(医療モール・駐輪場・デッキ)

## 自転車駐輪場落札されず(不調)

「歩行者デッキ」予定価格の77%で落札

- 平成22年 1月 「取手駅西口地区まちづくり企画提案公募」
- 平成22年 3月 31件提案され、8件入選し表彰される。
- 平成22年 11月 まちづくりの目標と基本方針案「健康・医療・福祉、そして環境の充実を目指すまちづくり」公表。
- 平成23年 5月 「ウェルネスタウン構想」関係予算送付(第2回定例会)
- 平成23年 6月 「取手駅北土地利用構想(案)」パブコメ募集(6月1~30日)
- 平成23年 6月 「ウェルネスタウン構想」関係予算(自転車駐輪場・歩行者デッキ実施設計等の補正予算含む)、議会開会日に取下げ
- 平成23年 7月 取手駅北土地利用構想の説明会を5回開催(述べ約110人)
- 平成23年 7月 第1回臨時議会 「ウェルネスタウン構想」関係予算可決 自転車駐輪場(1200万円)・歩行者デッキ(3150万円)実施設計・C街区の造成工事(3500万円)等の補正予算可決
- 平成24年 7月 「ウェルネスプラザ整備計画案」のパブコメ募集。194人180件の意見が出される。
- 平成24年 9月 「取手駅北土地利用構想特別委員会」設置
- 平成24年 11月 歩行者デッキ、予定価格の77%で落札。自転車駐輪場落札されず(予定価格と大きな差額あり)
- 平成24年 12月 自転車駐輪場(アップ)・歩行者デッキ(ダウン)補正可決
- 平成24年 12月 再度公告
- 平成25年1月末 入札予定

企画提案公募は、市と市民との協働の一つ。でも芸術のまち構想はどこかへ?

「ウェルネスタウン構想」のパブコメ。結果が出ていないのに関係予算が送付されたの。(市長提案) 当然、猛反発よね

A街区の区画整理が進むと、駐輪場が無くなるから必要。

### 他のC街区の動き

平成23年10月

取手駅北C街区事業提案公募

平成23年11月

C街区最優秀事業提案者決定

平成23年12月

公有地売却の不動産鑑定結果が低いと考えられるので、売却中止の決議案提出。賛成12反対13の1票差で否決。議決前日に公有地売却される。

### 特別委員会の動向

平成24年9月設置

- \*機械式立体駐輪場の視察
- \*久野先生講演「ウェルネスを中核にしたまちづくり」
- \*12月10日委員会：前回の議会で継続審査の「ウェルネスプラザ整備計画停止」の請願等2本、否決。
- \*12月18日委員会：入札不調の調査。補正予算可決。

### 駐輪場のタイプを検討 (市役所内で検討 H24年2月)

施設規模	機械式立体駐輪場 3基	自走式駐輪場	複合式駐輪場 自走式・立体駐輪2基
収容台数	自転車 756 台	自転車 800 台	自転車 832 台
事業費	約 3 億	約 1.5 億	約 2.6 億
運営費	1 千万円	650 万円	1 千万円
構造			

### 市が説明する 5つの不調原因

- ① 工事現場状況の見積り甘さ(坂・水が出る・隣が関鉄) ↓現場を見れば私でも分かるのに、何故甘くなった?
- ② 設計図書が凝り過ぎて、資材が高価になった。
- ③ 復興特需により、資材・人件費等が高騰。
- ④ 高騰割合が変わり、資材より人件費が要因と変わる。
- ⑤ 照明器具等の積算間違い ↓予定価格の1%未満の間違い。機械式駐輪場の見積もり間違い ↓見積もりなのに?



### 「藤代陸橋」閉鎖された新田踏切」の整備を!

### 機械式立体駐輪場1基と自走式の複合を提案

市の計画では自走式350台と機械式立体駐輪場2基450台です。立体駐輪場を1基にすれば、補正予算を組まなくても差額分を削れます。

駐輪収容可能台数が800台ですが、これは、放置自転車140台と廃止予定の東口第1駐輪場120台を積算しています。放置自転車140台は、ボックスヒル近くなので、その近辺にラック式駐輪場を作る方式で放置自転車を解消。市の負担は一切なしです。東口にも同じような駐輪場を設置。550台分が良いため、自走式と立体駐輪場1基の設置で△的な補正予算を組む必要はないと考えます。

新田踏切は侵入出来ないように、フェンスで閉鎖されましたが、完全ではなく、人が線路内に侵入出来てしまうため、至急対策が必要です。閉鎖されたことや踏切迂回路等の案内看板の設置も要望しています。

新田踏切閉鎖のお知らせを!  
喚起の看板を設置して欲しいと要望もしました。

藤代陸橋の安全確保を!  
藤代陸橋の歩道は、車道につながる非常に危険な歩道です。開通と同時に、宮和田小学校から注意喚起のメールが保護者宛に来て、色々な対策が施されました。自転車に乗る人へのためのスロップ付き階段は、子どもの保護者から見て危険であるので、「自転車を降りて押しながら降りて下さい」という注意喚起の看板を設置して欲しいと要望も

藤代陸橋の開通により、国道6号と藤代南間の車両通行は便利になりました。しかし、「新田踏切の閉鎖」は、藤代で生活する人々にとって不便で危険なことも出てきています。常磐線の南側北側にあるスーパーでの買い物、郵便局や銀行への往復も行きづらくなりました。特に車を使わない徒歩や自転車の方、お年寄りや子どもたちには不便だけでなく危険にも!